



# 今井小だより

横浜市立今井小学校  
令和2年10月30日  
学校だより11月号

学校教育目標：かがやいている子「自分大好き！今井大好き！」

## 創立140周年行事によせて Part2

学校長 森脇 信行



ステンドグラスの宣伝

いよいよ今週末は、今井小学校の創立140周年式典・運動会「今リンピック」です。10月号でも話をさせていただきましたが、本来ならば、創立140周年を記念して、式典や各行事を盛大に行うべきところです。しかし、新型コロナウイルスの影響で、その規模の縮小や内容の変更を余儀なくされています。それでも子どもたちは、当日に合わせて一生懸命準備を重ねてきました。セレモニー係は、今井小140才のお祝いを盛り上げるために、進行を考え、準備をしました。応援団は毎日中休みに練習をするだけでなく、教室を回って応援指導を行い、全校練習を仕切りました。たてわり係と今井町音頭係は、三密にならない新企画を提案し、全校練習を盛り上げました。製作係はスローガンの掲示や窓飾りの企画とセレモニーの大道具作りに取り組みました。放送係、用具・審判係は周年行事当日に参加者全員が楽しむことができるように、道具の準備や練習を行いました。また、係には入っていない低・中学年の子どもたちは、全校の応援練習や歌の練習で上級生より大きな声を出していました。当日もきっと上級生に負けない元気な声で全体を盛り上げてくれることなのでしょう。また、以前紹介したステンドグラスでは、子どもたち一人ひとりの個人作品と学級作品で校舎の窓を飾ります。そして本日、各学年の演技も完成し、全ての準備が終了しました。**さあ！みんなで140周年を祝いましょう！！**

さて、一言で140周年といっても、その時の長さは私には到底想像がつかないものです。140年前といたら、エジソンによって、電灯が発明された頃で、当初は寺子屋同然の様子だったのだろうと想像できます。また、140年間の時代の移り変わりの中で変遷を経る過程では、多くの困難や課題があったことなのでしょう。それでも、今井小学校は、それを克服しつつ、教育実践を積みかさね、多数の人材を輩出してきました。その原動力となったのは、まぎれもなく学校に対する地域の思いと、学校に携われた多くの方々の思いであると言っても過言ではありません。ところで、その今井小学校の伝統を築き上げられた方たちには今の今井小学校はどのように映っているのでしょうか。「自分たちの思いを受け継いだ素晴らしい学校」と思っていただけなのでしょう。140周年を迎え、おめでとうという気持ちと共に、よき伝統と校風を次の時代に繋げ、新たな時代を作り上げていく人材を私たちが育成していかなければいけないという、使命感に身を引き締められる思いでいっぱいです。